

頑張れ

趙伶俐

私は河南大学日本語学科 4 年の時に、大学の交換留学生プロジェクトを通して日本の大正大学で一年間留学しました。大学卒業後、日本の大学院に進学したいと考えていた時に、埼玉大学の大学院に在籍している先輩に亜細亜友之会外語学院を紹介して頂きました。先生方のおかげで、国立北海道大学教育研究院と上智大学大学院文学研究科に合格できました。私の留学生活と進学経験を皆さんにお伝えしたいと思います。皆さんの役に立てれば幸いです。

文系の学生にとって、どんな専攻でも高い日本語力が必要とされています。この一年半の中で、自分の日本語力の不足を十分考えさせられました。日本語能力試験 N 1 に合格したからと言って、うまく使えなかったら何も意味がないと思います。間違いを恐れずに、口を開いて積極的に日本人とコミュニケーションを取ることが非常に重要です。

留学生にとって、アルバイトのことは避けて通れない大事なことだと思います。勉強よりもアルバイトに重きを置いている留学生もいるのですが、こういう人は本当に愚かなことをしていると思います。私も一所懸命アルバイトをしていた 2 ヶ月間がありました。その 2 ヶ月間は、毎日アルバイトで疲れ果て、部屋に戻ったらすぐ寝てしまい、頭の中は商品名と接客の挨拶でいっぱいです。そんな生活を続けたら、勉強どころか、脳の思考さえ停止している気がしました。

自分の在留カードに「在留資格：留学」とハッキリ書いてあるでしょう。決してアルバイトのために日本に来たわけではないと自分も十分わかっています。自分が何のために日本に来たのか、卒業したら進路はどうするのかなどを考えたら、今自分がしていることに対して後悔してやまなかったです。なんと 2 ヶ月間も無駄にしたのです。

大学院と専攻を選ぶ際に、何度も石川先生に相談に乗って頂いて、貴重な意見をたくさん頂きました。北海道大学に進学した卒業生にわざわざ連絡してくださり、受験経験者の話を直接に聞かせて下さいました。ここで、石川先生に心から感謝を申し上げたいと思います。そのほかに、大学院の志望校選び、専攻選び、研究計画書の作成、出願資料の準備といった全てのプロセスにおいて、行き届いた指導をして下さった楊先生と宮原先生にお礼を申し上げたいと思います。

最後に、私の母校の先生、亜細亜友之会外語学院の野左近校長先生、そして私を指導して下さいました全ての先生方に心からお礼を申し上げます！後輩の皆さんが自分の夢を叶えられるように願っています。頑張れ！

2015 年 2 月